

関西学院初等部 1年 体育科 シラバス〔保護者用〕

◇1年体育科の目標

- ・基本の運動及びゲームをする中で、体力を養い、勝敗を素直に認めることができるようにする。
- ・みんなで活動の仕方や競争のルールを工夫しながら運動できるようにする。
- ・順番やきまり、ルールを守り、仲よく運動に取り組む態度を育てる。

◇1年体育科の学習計画

	単元名	単元の概要
1 学 期	体ほぐしの運動・固定遊具の遊び	遊具の使い方について話を聞き、順番や約束を守って仲よく遊びをします。固定施設で登り下りなどをします。
	鬼遊び	氷鬼、手つなぎ鬼などをして遊びます。みんなが楽しめるようなルールを考え、仲よく活動をします。思い切り追いかけたり、すばやく逃げたりします。
	ボール遊び	宝取りゲーム、ボール運びゲームをします。簡単な作戦を考え、仲よくボール運びゲームをします。相手の動きにあわせてすばやく動きます。
	新体力テスト	握力、50m走、ソフトボール投げ、立ち幅跳びなど7種目の記録をとります。
	ハードルリレー	川とび、輪とびリレー、ハードルリレーをします。走る順番やとび越し方を工夫し、全力で走ります。
	多様な動きをつくる運動遊び（一輪車・竹馬・鉄棒）	バランスをとりながら、竹馬と一輪車の操作を楽しみます。友だちと助け合いながら、仲よく安全に運動します。鉄棒は、上がる、ぶらさがる、振るなどの感覚を楽しみます。
	マット遊び	好きな回り方で、マット遊びをします。友だちのおもしろい転がり方をみつけ、順番を守り、仲よくマット遊びをします。前、後ろ、横など、いろいろな方向へ転がります。
2 学 期	水遊び	プールの中で、歩いたり走ったりいろいろな水遊びをしたりします。きまりを守って安全に仲よく水遊びをします。水中にもぐったり息をはいたりする動きを学習します。
	くねくね走・リレー	走る順番を考えたりタッチを工夫したりして、仲よくリレーをします。全力で走ったり、コーンを小さく回ったり、スムーズにタッチしたりします。
	リズム遊び	いろいろな曲のリズムにのって、動きを変化させながら、友達と自由にはずんで踊ります。楽しい動きになるように体の使い方を工夫し、友達と仲良くリズム遊びをします。
	表現遊び	いろいろな動物の様子をまねて踊ったり、好きな動物を選んでお話をつくって踊ったりします。楽しい動きになるように体の使い方を工夫し、友達と仲良く表現します。

	とび箱遊び	とび箱遊びをします。友達の動きを参考にし、安全に気をつけてとび箱遊びをします。ふみこしとび、かいきやくとびなどをします。
	幅跳び遊び	幅跳びをします。楽しく跳ぶ場を工夫して、安全に気をつけて活動します。助走をつけて片足でふみきって前方に力強く跳びます。
3 学 期	持久走	自分のめあてを決め、持久走をします。無理のない速さで走り続けます。
	多様な動きをつくる運動遊び（なわとび）	短なわと長なわをします。きまりや順番を守って仲よくなわとびをします。短なわや長なわにあわせて、自分の体を動かします。
	ボール遊び	ボール投げゲームや的当てゲームをします。みんなが楽しめるルールを決めて、仲よくゲームをします。ボールの動きにあわせて体を動かしたり力強く狙って投げたりします。
	ボールけりゲーム	ボールけりゲームをします。みんなでルールを決めたり簡単な作戦を考えたりして仲よく行います。ボールをけったり、飛んできたボールをとめたりします。
	多様な動きをつくる運動遊び	ケンケンパッやおしずもうなどの用具を使わない運動をしたり、フラフープやボールなどの用具を使う運動をしたりします。体全体の使い方やバランスのとり方を楽しみます。

◇指導の工夫

<励まし合う体育>

- ・みんなで運動を楽しめるように、集団種目はもちろんのこと、個人的運動種目の場合でも、小グループを基本とし、子ども同士の励まし合いが生まれるようにします。

<運動量の確保>

- ・低学年の子どもは、体を動かすこと自体に強い欲求を感じます。したがって、体育では、友達とかかわり合いながら、各種運動をじっくり経験できるように指導します。

◇評価観点

- ・みんなと仲良く、進んで運動に取り組もうとしているか。
- ・基本の運動やゲームの仕方を考え、工夫しているか。
- ・基本の運動やゲームを楽しく行うために必要な動きを身に付けることができたか。

◇使用するテキスト類

『体育の学習1年』（光文書院） 学習カード

◇保護者のみなさまへ

- ・低学年の子どもは、徐々に仲間意識が育ち集団活動が可能となってきます。そこで、体育科では、友だちとの関係を意識し、役割を分担しながら運動を楽しむことができるように、授業を展開していきます。
- ・元気よく走ったり、とんだりすることを好むのが、低学年の子どもの特徴の一つです。体育科では、活発な運動をじっくり経験できるようにシラバスを作成しました。ご家庭でも、普段から体全体を使った運動に親しめるようご配慮ください。
- ・体育では、体操服と体操帽を着用します。ご準備をお願いします。また、体育のある日は必ず体調の確認をお願いします。もし見学する場合は、連絡帳にその旨記入お知らせください。

関西学院初等部 2年 体育科 シラバス〔保護者用〕

◇2年体育科の目標

- ・基本の運動及びゲームをする中で、体力を養い、勝敗を素直に認めることができるようにする。
- ・みんなで活動の仕方や競争のルールを工夫しながら運動できるようにする。
- ・順番やきまり、ルールを守り、仲よく運動に取り組む態度を育てる。

◇2年体育科の学習計画

	単元名	単元の概要
1 学期	体ほぐしの運動・鬼遊び	しっぽとり鬼や宝運び鬼をして遊びます。みんなが楽しめるようなルールを考え、仲よく鬼遊びをします。思い切り追いかけたり、すばやく逃げたりします。
	多様な動きをつくる運動遊び	ボールやフラフープなどをつかったり、バランスをとったりする運動遊びをします。腕や足、体全体の基本的な動きを体感します。
	ボール運びゲーム	宝取りゲームやボール運びゲームをします。簡単な作戦を考え、仲よくボール運びゲームをします。相手の動きにあわせてすばやく動きます。
	新体力テスト	握力、50m走、ソフトボール投げ、立ち幅跳びなど7種目の記録をとります。
	ハードルリレー	ミニハードルやフラフープ、ミニコーンなど置くものを組み合わせたり、置く間隔を工夫したりして、楽しくハードルリレーをします。
	体ほぐしの運動・マット遊び	いろいろなマットで、いろいろな回り方をして遊びます。友達のおもしろい転がり方をみつけ、順番を守り、仲よくマット遊びをします。前、後ろ、横など、いろいろな方向へ続けて転がります。
2 学期	水遊び	けのびやバタ足で、水に浮いて進みます。きまりを守って安全に仲よく水遊びをします。水中を歩いたり息をはいたり浮いたりする等の動きを学習します。
	かけっこ・リレー	速く走る方法を学習します。走る順番を考えたりタッチを工夫したりして、みんなで仲よく折り返しリレーをします。全力で走ったり、コーンを小さく回ったり、スムーズにタッチしたりします。
	リズム遊び	いろいろな曲のリズムにのり、動きを変化させて、みんなで楽しく踊ります。楽しい動きになるように体の使い方を工夫し、思い切り弾んで踊ります。
	表現遊び	遊園地のいろいろな乗り物を見つけて踊ったり、好きな乗り物を選んで動きを続けて踊ったりします。楽しい動きになるように体の使い方を工夫し、友達と仲良く表現します。
	とび箱遊び	とび箱遊びをします。友達の動きを参考にし、安全に気をつけてとび箱遊びをします。ふみこしとび、かいきやくとびなどをします。
	鉄棒遊び	ひざかけ振り、ひざかけ振り上がり、ひざかけ後ろ回り、前回りおり等の、いろいろな振り方、上がり方、回り方、おり方で遊びます。安全にみんなで仲よく鉄棒遊びをします。上がる、ぶらさがる、振るなどの感覚を楽しみます。

	高跳び遊び	いろいろな物をとび越して遊んだり、グループの中でとび比べをしたりします。遊び方を工夫して、仲よく高とび遊びをします。
3 学 期	持久走	自分のめあてを決め、持久走をします。無理のない速さで走り続けます。
	多様な動きをつくる運動遊び (なわとび)	短なわや長なわをします。きまりや順番を守って仲よくなわとびをします。短なわや長なわにあわせて、自分の体を動かします。
	ボール遊び(ドッジボール)	円形ドッジボール、四角ドッジボール、ボールとり遊び、ボールつき遊び、Gボール遊びをします。みんなが楽しめるルールを決めて、仲よくゲームをします。ボールにあわせて体を動かしたり力強く狙って投げたりします。
	多様な動きをつくる運動遊び (平均台遊び)	できそうな渡り方やかっこうでいろいろな平均台を渡ります。平均台を使ってできる遊びを考え、安全に気をつけ仲よく平均台遊びをします。平衡感覚をつかみます。
	ボールけりゲーム(キックベースボール)	10個のボールサッカーや枠なしサッカーをします。みんなでルールを決めたり簡単な作戦を考えたりして仲よくゲームをします。動いているボールをけって攻めたり守ったりします。

◇指導の工夫

<励まし合う体育>

- ・集団種目はもちろんのこと、個人的運動種目の場合でも、小グループを基本とし、子ども同士の励まし合いが生まれるようにし、みんなで運動を楽しめるようにします。

<運動量の確保>

- ・低学年の子どもは、体を動かすこと自体に強い欲求を感じます。したがって、体育では、友達とかかわり合いながら、各種の運動をじっくり経験できるように指導します。

◇評価観点

- ・みんなと仲良く、進んで運動に取り組もうとしているか。
- ・基本の運動やゲームの仕方を考え、工夫しているか。
- ・基本の運動やゲームを楽しく行うために必要な動きを身に付けることができたか。

◇使用するテキスト類

副読本『体育の学習』(光文書院) 学習カード

◇保護者のみなさまへ

- ・低学年の子どもは、徐々に仲間意識が育ち集団活動が可能となってきます。そこで、体育科では、友だちとの関係を意識し、役割を分担しながら運動を楽しむことができるように、授業を展開していきます。
- ・元気よく走ったり、とんだりすることを好むのが、低学年の子どもの特徴の一つです。体育科では、活発な運動をじっくり経験できるようにシラバスを作成しました。ご家庭でも、普段から体全体を使った運動に親しめるようご配慮ください。
- ・体育では、体操服と体操帽を着用します。ご準備お願いします。また、体育のある日は必ず体調の確認をお願いします。もし見学する場合は、連絡帳にその旨記入お知らせください。

関西学院初等部 3年 体育科 シラバス〔保護者用〕

◇3年体育科の目標

- ・楽しくあきらめずに運動する中で、運動特性に応じた技能や体力を身につけるとともに、勝敗に対して公平な態度が取れるようにする。
- ・チームや自分の課題を解決するための活動を考えながら運動できるようにする。
- ・約束を守り、助け合ったり、励まし合ったりしながら、仲よく運動に取り組む態度を育てる。
- ・心身の健康を保持増進する生活行動を身につけ、変化・成長していく自らの心身と向き合い、他者との違いを尊重し合い合う。

◇3年体育科の学習計画

	単元名	単元の概要
1 学 期	フラッグフットボール	タックルのかわりに相手が付けているタグ（ひも）を取るアメフト型スポーツです。 きまりを守って、パスやキャッチをしながら仲よくゲームをします。
	走り幅跳び	自分のめあての記録に挑戦したり、友達と競争したりします。リズムに乗った助走から調子よく踏み切って高くとびます。
	新体力テスト	握力、50m走、ソフトボール投げ、立ち幅跳びなど7種目の記録をとります。
	体ほぐしの運動・多様な動きをつくる運動	輪あそび・ちからだめし・ボールあそび、一輪車・鉄棒などを通して、さまざまな基本的な動きを学びます。
	健康な生活①	健康について心と体の両面から考えます。自分の生活をふりかえり、健康に良い生活の仕方を考えます。
	ハンドボール	ハンドボールをします。ボールを手で操作したり、守りのいないところにすばやく動いたりする動きを学びます。
	マット運動	できそうな回り方（例：前転、開きやく前転、後転、開きやく後転等）を組み合わせて回ります。練習方法や場を工夫して、根気強く安全に運動します。
2 学 期	水泳	クロールや平泳ぎである程度続けて泳ぎます。友達の泳ぎを見ながら練習に取り組み、きまりを守って安全に水泳をします。上ヶ原キャンパスの温水プールで、関学大水上競技部の方にも指導してもらいます。
	リレー	作戦を考えたり、バトンパスを工夫したりして、いろいろなコースで仲よくリレーをします。
	チアリーディング	ロックやサンバのリズムにのって、友達と動きを合わせて踊ります。動きを工夫して、協力してダンスの練習や発表をします。
	表現運動	忍者のいろいろなイメージをとらえ、思いつくままに踊ったり、表したいイメージを選んで感じをこめて踊ったりします。意見を出し合って動きを工夫し、協力して練習や発表をします。
	とび箱運動	いろいろな向きや高さのとび箱を、できそうなとび方（例：開脚とび、かかえこみとび等）でとび越します。仲良く安全に運動し、とび越し、着地、支持、回転などの感覚をつかみます。
	健康な生活②	毎日の生活をふりかえり、体や身の回りのものを清潔に保つことが、健康の保持増進につながることを学びます。
	リングボールゲーム	バスケットボールを基にした、ゴールに向かってボールをシュートするゲームです。ボールを手で操作し、ドリブルやパスをしながら、友達と協力してゴールを目指します。
3 学 期	持久走	自分のめあてを決め、持久走をします。無理のない速さで走り続けます。
	多様な動きをつくる運動（なわとび）	短なわと長なわを楽しみます。とび方を工夫して、仲よく安全に運動します。なわをタイミングよく操作し、なわに合わせて体を動かします。
	健康な生活③	蛍光灯の明るさや空気の換気など、身の回りの環境が健康に与える影響について考え、生活環境の整え方を理解します。

ポートボール	バスケットボールを基にした、ゴールに向かってボールをシュートするゲームです。ボールを手で操作し、ドリブルやパスをしながら、友達と協力してゴールを目指します。
プレルボール	チームの連携プレーで守ったり攻めたりして前腕を使ってラリーを続けるバレーボールを基にしたボールつきゲームです。必ず自分の陣地にワンバウンドさせて相手の陣地に返すというドイツで考案されたゲームです。

◇指導の工夫

<高め合う体育>

- ・自分だけが運動を楽しむのではなく、みんなで運動を楽しめるように、友達と教え合い、励まし合い、認め合いながら、互いに伸び、高まっていこうとする学習を展開します。

<エルダーズシステム>

- ・エルダーズとして、大学体育会部員に指導に加わってもらい、子どもが、各種運動の素晴らしさや奥深さを感じ取れるようにします。4年体育では、アメリカンフットボール部、水上競技部などに協力をお願いします。

<シンボルスポーツ>

- ・関学のシンボルスポーツであるアメリカンフットボールに似たフラッグフットボールを行います。フラッグフットボールを通して、関学の一員であることや役割分担し力を合わせ前へ進むことのよさを感じ取らせませす。

◇評価観点

- ・友達と協力しながら、進んで運動に取り組もうとしているか。
- ・健康な生活を送るための課題を見つけ、実践しようとしているか。
- ・自分やチームの課題を見つけ、練習や作戦を工夫しているか。
- ・健康によい生活の仕方に気づき、生活上の課題を解決する方法を見つけているか。
- ・各種運動にふさわしい技能や体力を身につけることができたか。
- ・運動、食事、睡眠の調和の大切さや生活環境を整える必要性を理解できたか。

◇使用するテキスト類

検定教科書『新版 小学ほけん けんこうってすばらしい 3・4年』（光文書院）

副読本『体育の学習』（光文書院） 学習カード

◇保護者の皆様へ

- ・初等部の体育科では、体力や運動技能を身につけることに加え、よりよい人間関係づくりを重要な目標のひとつとしています。そこで、友達同士のかかわり合いが自然に生まれるような種目をシラバスに数多く取り入れたり、ルールやマナーについて話し合う時間を十分に設けながら授業を行ったりします。
- ・グルーベル院長の提唱する「Education for Life」を念頭に、シラバスを作成しました。命は与えられたものであること、私たちは他の人たちに助けられ〈ともに生きる〉ことではじめてよりよい生活を送ることができることなどを、保健の学習を通して、子どもに意識させます。
- ・体育では、体操服と体操帽を着用します。ご準備お願いします。また、体育のある日は必ず体調の確認をお願いします。もし見学する場合は、連絡帳にその旨記入お知らせください。

関西学院初等部 4年 体育科 シラバス〔保護者用〕

◇4年体育科の目標

- ・楽しくあきらめずに運動する中で、運動特性に応じた技能や体力を身につけるとともに、勝敗に対して公平な態度が取れるようにする。
- ・チームや自分の課題を解決するための活動を考えながら運動できるようにする。
- ・約束を守り、助け合ったり、励まし合ったりしながら、仲よく運動に取り組む態度を育てる。
- ・心身の健康を保持増進する生活行動を身につけ、変化・成長していく自らの心身と向き合い、他者との違いを尊重し合い合う。

◇4年体育科の学習計画

	単元名	単元の概要
1 学期	フラッグフットボール	タックルのかわりに相手が付けているタグ（ひも）を取るアメフト型スポーツです。 きまりを守って、パスやキャッチをしながら仲よくゲームをします。
	体ほぐしの運動・多様な動きをつくる運動	輪あそび・ちからだめし・ボールあそびなどを通して、さまざまな基本的な動きを学びます。
	ハードル走	1人対1人の競争をしたり、8秒間ハードル走をしたり、リレーをしたりします。自分に合ったインターバルで調子よくリズムカルに走り越します。
	キャッチバレーボール	バレーボールを基にした、簡易ルールでの運動です。レシーブを行うために落下地点に素早く移動したり、味方が受けやすいボールをパスしたりできるようにします。
	新体力テスト	継続的に体力を測定し、自己の体について考えます。 握力、50m走、ソフトボール投げ、立ち幅跳びなど7種目の記録をとります。
	育ちゆく体とわたし①	心と体の成長に関心をもち、発育の盛んな時期が2回あり、発育の仕方には個人差があることを理解します。
	マット運動	できそうな回り方（例：開きやく前転、側方とう立回転等）を組み合わせて回ります。練習方法や場を工夫して、根気強く安全に運動します。
2 学期	水泳	クロールや平泳ぎである程度続けて泳ぎます。友達の泳ぎを見ながら練習に取り組み、きまりを守って安全に水泳をします。上ヶ原キャンパスの温水プールで、関学大水上競技部の方にも指導してもらいます。
	リレー	作戦を考えたり、バトンパスを工夫したりして、いろいろなコースで仲よくリレーをします。
	表現運動	ロックやサンバのリズムなどあわせて、友達と楽しく踊ります。協力してダンスの練習や発表をします。
	多様な動きをつくる運動	主に団体競技の中で、さまざまな運動に取り組みます。 意見を出し合って動きを工夫し、協力して練習します。 いろいろなコースで一輪車に乗ります。バランスをとりながら、操作を楽しみます。友達と助け合い、仲よく安全に運動します。 できそうな技（例：せ上がり、うで立て後ろ回り、前回りおり等）を組み合わせます。教え合ったり技を工夫して練習したりして、安全にねばり強く運動します。
	とび箱運動	いろいろな向きや高さのとび箱を、できそうなとび方（例：横とび、あおむけとび、台上前転等）でとび越します。練習を工夫して、互いに協力して、安全に運動します。
	育ちゆく体とわたし②	大人に近づく体について学び、成長速度や性差を尊重し配慮が必要であることを理解します。男女の主だった体つきの変化や体の中で起こる変化について理解し、その変化には個人差があることを知ります。
	ハーフバスケットボール	ハーフサイズのコートでバスケットボールをします。攻め方や守り方、ボール扱いを工夫します。ゲームの反省点をチームで話し合い、次のゲームに活かします。

3 学 期	持久走	自分のめあてを決め、持久走をします。無理のない速さで走り続けます。
	多様な動きをつくる運動（なわとび）	短なわと長なわを楽しみます。とび方を工夫して、仲よく安全に運動します。なわをタイミングよく操作し、なわに合わせて体を動かします。
	育ちゆく体とわたし③	よりよい成長のためには、バランスの良い食事や運動、休養、睡眠が欠かせないこと学びます。成長の仕方と生活習慣をつなげて考え、自分の身近な人の成長の仕方に理解を深めます。
	グリッドサッカー	動ける範囲が決まっているサッカー型スポーツです。ルールを生かした作戦を考えます。ドリブル、パス、シュートを使って仲良くゲームをします。
	走り高跳び	リズムに乗った助走から調子よく踏み切る感覚をつかみます。3歩や5歩の助走で、リズムの取り方を工夫して、自分の心地よいリズムを考えます。

◇指導の工夫

<高め合う体育>

- ・自分だけが運動を楽しむのではなく、みんなで運動を楽しめるように、友達と教え合い、励まし合い、認め合いながら、互いに伸び、高まっていこうとする学習を展開します。

<エルダーズシステム>

- ・エルダーズとして、大学体育会部員に指導に加わってもらい、子どもが、各種運動の素晴らしさや奥深さを感じ取れるようにします。4年体育では、アメリカンフットボール部、水上競技部などに協力をお願いします。

<シンボルスポーツ>

- ・関学のシンボルスポーツであるアメリカンフットボールに似たフラッグフットボールを行います。フラッグフットボールを通して、関学の一員であることや役割分担し力を合わせ前へ進むことのよさを感じ取らせます。

◇評価観点

- ・友達と協力しながら、進んで運動に取り組もうとしているか。
- ・健康な生活を送るための課題を見つけ、実践しようとしているか。
- ・自分やチームの課題を見つけ、練習や作戦を工夫しているか。
- ・健康によい生活の仕方に気づき、生活上の課題を解決する方法を見つけているか。
- ・各種運動にふさわしい技能や体力を身につけることができたか。
- ・運動、食事、睡眠の調和の大切さや生活環境を整える必要性を理解できたか。

◇使用するテキスト類

検定教科書『新版 小学ほけん けんこうってすばらしい 3・4年』（光文書院）

副読本『体育の学習』（光文書院） 学習カード

◇保護者の皆様へ

- ・初等部の体育科では、体力や運動技能を身につけることに加え、よりよい人間関係づくりを重要な目標のひとつとしています。そこで、友達同士のかかわり合いが自然に生まれるような種目をシラバスに数多く取り入れたり、ルールやマナーについて話し合う時間を十分に設けながら授業を行ったりします。
- ・グルーベル院長の提唱する「Education for Life」を念頭に、シラバスを作成しました。命は与えられたものであること、私たちは他の人たちに助けられ〈ともに生きる〉ことではじめてよりよい生活を送ることができることなどを、保健の学習を通して、子どもに意識させます。
- ・体育では、体操服と体操帽を着用します。ご準備をお願いします。また、体育のある日は必ず体調の確認をお願いします。もし見学する場合は、連絡帳にその旨記入お知らせください。

関西学院初等部 5年 体育科 シラバス〔保護者用〕

◇5年体育科の目標

- ・楽しくベストを尽くして運動する中で、運動特性に応じた技能を身につけ、体の調子をを整え体力を高めるとともに、勝敗に対して正しい態度をとれるようにする。
- ・自分やチームの課題を解決するための活動を考えたり工夫したりしながら運動できるようにする。
- ・規則や約束を守り、互いのよさを認め合いながら、協力して運動に取り組む態度を育てる。
- ・心身の健康を保持増進する生活行動と生活環境の改善に、主体的に取り組む、恵み豊かな命を感じ、自他を尊重し共に生きる態度を育てる。

◇5年体育科の学習計画

	単元名	目標・主な活動
1 学期	フラッグフットボール	タックルのかわりに相手が付けているタグ（ひも）を取るアメフト型スポーツです。きまりを守って、パスやキャッチをしながら仲よくゲームをします。練習や攻め方・守り方を工夫してよりよいチームをつくりまします。
	体ほぐしの運動・マット運動	体ほぐしの運動の行い方を知り、仲間とかかわり合いながら、いろいろな運動を行います。得意な回り方や、できる回り方で、連続して回ったり、組み合わせ回ったりします。（倒立前転、側方倒立回転、とび前転、かべのぼり倒立など）
	ハードル走	リズムカルに素早くハードルを飛び越える学習をします。練習方法を工夫して、友達と教え合い励まし合いながら、自分の記録に挑戦します。
	新体力テスト	継続的に体力を測定することで、自分の体について考えます。
	心の健康	心の発達と不安や悩みへの対処について学習します。心と体が相互に影響しあうことや悩みへの対処方法には身近な大人や友達に相談することがあることを知ります。
	ソフトバレーボール	バレーボールを基にして取り組みやすく工夫された運動をします。トスなどの関係プレーやアタック、フェイントなどの相手を取りにくいボールを打ちかえせるように仲間と協力して行います。ルールを正しく理解し、チームの特徴に応じた作戦を考えられるようにします。
2 学期	水泳	クロールや平泳ぎである程度続けて長く泳ぎます。友達の泳ぎを見ながら練習に取り組み、きまりを守って安全に水泳をします。上ヶ原キャンパスの温水プールで、関学大水上競技部の方にも指導してもらいます。
	短距離・リレー	作戦を考えたり、バトンパスを工夫したりして、いろいろなコースで仲よくリレーをします。競争の仕方を工夫して記録に挑戦したり、スウェーデンリレーをしたりします。
	体力を高める運動	体力を高める運動を理解し、行います。 自分や仲間の体力の様子を知り、自分にあつた工夫をします。
	表現運動	激しい感じの題材や集団が生きる題材などから表したいイメージをとらえて、変化をつけたひと流れの動きで表現したり、簡単なひとまとまりの動きにしたりして表現できるようにします。動き方について仲間と話し合いながら、協力して取り組みます。
	けがの防止①	けがは交通事故や身の回りの生活の危険が原因となって起こることを理解します。学校や登下校場面での具体的な状況での危険防止について考えます。
	走り幅跳び	自分のめあての記録に挑戦したり、友達と競争したりします。リズムに乗った助走から調子よく踏み切つて高くとびます。

	とび箱運動	いろいろな向きや高さのとび箱を、できそうなどび方（例：かかえこみとび、前方とう立回転とび、グループとび、台上前転等）でとび越します。練習を工夫して、互いに協力して、安全に運動します。
3 学 期	持久走	自分に合った速さを考え楽しく走ります。 自分のめあてを決め、ねばりづよく走ります。
	多様な動きをつくる運動（なわとび）	なわをタイミングよく操作し、なわにあわせて体を動かすことができる。 とび方を工夫して、仲よく安全に運動できる。短なわや長なわをとびます。
	けがの防止②	学校や家庭、通学路など様々な生活場面でのけがや事故の原因と防止について考えます。けがや事故に際しての応急手当てや対処方法を考えます。
	バスケットボール	やさしいルールで、パス、ドリブル、シュートなどを使って、いろいろなチームに挑戦します。練習や攻め方・守り方を工夫して、よりよいチームをつくります。

◇指導の工夫

<めあて学習>

- ・自分やチームのめあてを設定し、めあての達成のために、みんなで作戦やルールを考えたり、場や練習方法を工夫したりする課題解決的な学習を行い、運動する楽しさを友達と一緒に作り出せるようにする。

<エルダーズシステム>

- ・エルダーズとして、大学体育会部員に指導に加わってもらい、子どもが、各種運動の素晴らしさや奥深さを感じ取れるようにする。5年体育では、アメリカンフットボール部、水上競技部、陸上競技部などに協力をお願いする。

<シンボルスポーツ>

- ・関学のシンボルスポーツであるアメリカンフットボールに似たフラッグフットボールを行う。フラッグフットボールを通して、関学の一員であることや役割分担し力を合わせ前へ進むことのよさを感じ取らせる。

◇評価の観点と方法

- ・運動や健康・安全への関心・意欲・態度 → 運動の様子、話し合いの様子等
- ・運動や健康・安全についての思考・判断 → 運動の様子、発言内容、学習カードの記述等
- ・運動の技能 → 運動の様子
- ・健康・安全についての知識・理解 → 発言内容、プリントの記述内容、テスト等

◇使用するテキスト類

検定教科書『新版 小学保健 見つけよう健康 5・6年』（光文書院）

副読本『体育の学習』（光文書院） 学習カード

◇保護者の皆様へ

- ・初等部の体育科では、体力や運動技能を身につけることに加え、よりよい人間関係づくりを重要な目標のひとつとしています。そこで、友達同士のかかわり合いが自然に生まれるような種目をシラバスに数多く取り入れたり、ルールやマナーについて話し合う時間を十分に設けながら授業を行ったりします。
- ・グローバル院長の提唱する「Education for Life」を念頭に、シラバスを作成しました。命は与えられたものであること、私たちは他の人たちに助けられ〈ともに生きる〉ことではじめてよりよい生活を送ることができることなどを、保健の学習を通して、子どもに意識させます。
- ・体育では、体操服と体操帽を着用します。ご準備お願いします。また、体育のある日は必ず体調の確認をお願いします。もし見学する場合は、連絡帳にその旨記入お知らせください。

関西学院初等部 6年 体育科 シラバス〔保護者用〕

◇6年体育科の目標

- ・楽しくベストを尽くして運動する中で、運動特性に応じた技能を身につけ、体の調子を整え体力を高めるとともに、勝敗に対して正しい態度をとれるようにする。
- ・自分やチームの課題を解決するための活動を考えたり工夫したりしながら運動できるようにする。
- ・規則や約束を守り、互いのよさを認め合いながら、協力して運動に取り組む態度を育てる。
- ・心身の健康を保持増進する生活行動と生活環境の改善に、主体的に取り組み、恵み豊かな命を感じ、自他を尊重し共に生きる態度を育てる。

◇6年体育科の学習計画

	単元名	目標・主な活動
1 学期	フラッグフットボール	タックルのかわりに相手が付けているタグ（ひも）を取るアメフト型スポーツです。きまりを守って、パスやキャッチをしながら仲よくゲームをします。練習や攻め方・守り方を工夫してよりよいチームをつくります。
	ハードル走	1人対1人の競争をしたり、リレーをしたりします。自分に合ったインターバルで調子よくリズムカルに走り越します。
	新体力テスト	継続的に体力を測定することで、自分の体について考えます。
	病気の予防①	病気の起こり方や病原体と病気の予防について学習します。 生活の仕方と病気の予防を結び付けて考え、生活習慣の課題を見つけて望ましい行動について考えます。
	バレーボール	やさしいルールで、パス、アタック、レシーブなどを使って、いろいろなチームに挑戦します。攻め方・守り方を工夫して練習します。
	体力を高める運動	体力を高める運動を理解し、行います。 自分や仲間の体力の様子を知り、自分にあった工夫をします。
2 学期	水泳	クロールや平泳ぎである程度続けて長く泳ぎます。友達の泳ぎを見ながら練習に取り組み、きまりを守って安全に水泳をします。上ヶ原キャンパスの温水プールで、関学大水上競技部の方にも指導してもらいます。
	リレー	作戦を考えたり、バトンパスを工夫したりして、いろいろなコースで仲よくリレーをします。
	マット運動	得意な回り方や、できる回り方を連続したりや組み合わせたりします。(倒立前転、側方倒立回転、とび前転、かべのぼり倒立など) 組体操に向けて、基礎となるバランスや補助倒立をできるようにします。
	組体操	集団できびきびとした力強い動きをします。 一つ一つの動きを練習すると同時に、全員で動きを揃えて練習します。
	とび箱運動	いろいろな向きや高さのとび箱を、できそうなとび方(例：かかえこみとび、前方とう立回転とび、グループとび、台上前転等)でとび越します。 練習を工夫して、互いに協力して、安全に運動します。
	走り高跳び	自分のめあての記録に挑戦したり、友達と競争したりします。リズムに乗った助走から調子よく踏み切って高くとびます。

3 学 期	持久走	自分に合った速さを考え楽しく走ります。 自分のめあてを決め、ねばりづよく走ります。
	多様な動きをつくる運動（なわとび）	なわをタイミングよく操作し、なわにあわせて体を動かすことができる。 とび方を工夫して、仲よく安全に運動できる。短なわや長なわをとびます。
	病気の予防③	たばこやアルコールの害について理解し、未成年の喫煙・飲酒が法律で禁止されていることを知ります。 飲酒、喫煙、薬物の害、地域の保健活動について調べ、健康を保つ生活習慣について話し合いをし、病気の予防についての理解を深めます。
	サッカー	パスやシュートを中心に技能を身につけ、それぞれの役割を果たします。やさしいルールで、パス、ドリブル、シュートなどを使って、いろいろなチームに挑戦します。練習や攻め方・守り方を工夫して、よりよいチームをつくります。

◇指導の工夫

<めあて学習>

- ・自分やチームのめあてを設定し、めあての達成のために、みんなで作戦やルールを考えたり、場や練習方法を工夫したりする課題解決的な学習を行い、運動する楽しさを友達と一緒に作り出せるようにする。

<エルダーズシステム>

- ・エルダーズとして、大学体育会部員に指導に加わってもらい、子どもが、各種運動の素晴らしさや奥深さを感じ取れるようにする。

<シンボルスポーツ>

- ・関学のシンボルスポーツであるアメリカンフットボールに似たフラッグフットボールを行う。フラッグフットボールを通して、関学の一員であることや役割分担し力を合わせ前へ進むことのよさを感じ取らせる。

◇評価の観点と方法

- ・運動や健康・安全への関心・意欲・態度 → 運動の様子、話し合いの様子等
- ・運動や健康・安全についての思考・判断 → 運動の様子、発言内容、学習カードの記述等
- ・運動の技能 → 運動の様子
- ・健康・安全についての知識・理解 → 発言内容、プリントの記述内容、テスト等

◇使用するテキスト類

検定教科書『新版 小学保健 見つけよう健康 5・6年』（光文書院）

副読本『体育の学習』（光文書院） 学習カード

◇保護者の皆様へ

- ・初等部の体育科では、体力や運動技能を身につけることに加え、よりよい人間関係づくりを重要な目標のひとつとしています。そこで、友達同士のかかわり合いが自然に生まれるような種目をシラバスに数多く取り入れたり、ルールやマナーについて話し合う時間を十分に設けながら授業を行ったりします。
- ・グローバル院長の提唱する「Education for Life」を念頭に、シラバスを作成しました。命は与えられたものであること、私たちは他の人たちに助けられ〈ともに生きる〉ことではじめてよりよい生活を送ることができることなどを、保健の学習を通して、子どもに意識させます。
- ・体育では、体操服と体操帽を着用します。ご準備をお願いします。また、体育のある日は必ず体調の確認をお願いします。もし見学する場合は、連絡帳にその旨記入お知らせください。